

毎日頑張って働いている組合員の皆さんにもっと組合のことを知ってもらいたい。自分のこと、大切な仲間のこと、守るには知るべき大切なことがあります。「知る」参加、「いう」参加、「実践する」参加、「役割を持つ」参加。イキイキと働ける職場を一緒につくり上げていきましょう！

あなたは大丈夫？

## 女性→女性、男性→男性のセクハラを考えよう

### 「あなたの何気ないその一言が、相手をととても傷つけています」

セクハラというと、男性→女性へのイメージが強いですが、厚労省によると、最近では同性(女性→女性、男性→男性)のセクハラが増えています。問題なのは、加害者が「傷つけるつもりがない」「相手のことを思って言っている」ケースが多いこと。相手の立場になって、今いちどセクハラについて考えましょう。

#### 【女性→女性のセクハラとなり得る言動(例)】

嫌だって言えない・・・

- ・「結婚しないの？」  
・・・相手の人生であり、価値観の押し付けとも受け取られます。
- ・「早く子供を作ったほうがいい、子供はまだ？」  
・・・妊娠出産はデリケートな内容です。欲しくても授からない方もいます。
- ・「太ったね、痩せたね」  
・・・更年期などの問題を抱えたり、ご病気の方もいます。
- ・胸など体を触られる  
・・・女同士だからという言い訳は通用しません。



#### 【男性→男性のセクハラとなり得る言動(例)】

逃げられない・・・

- ・「男なんだからもっと頑張れ、これくらいできるだろう」  
・・・性差別と受け取られます。男性だからではなく、その人の個性を尊重しましょう。
- ・「性的な話題」に付き合わされる  
・・・男なら性的な話題を好むものという思い込みがあるかもしれません。私的な仲間との会話なら抵抗がなくても、職場という公的な場所で交わされると非常に苦痛を感じてしまいます。



支部長より

支部 組合員の皆さんに一言！

発行責任者：安達  
編集責任者：加藤



アークランドグループ労働組合は  
かわいたかおり、たむらまみを応援します